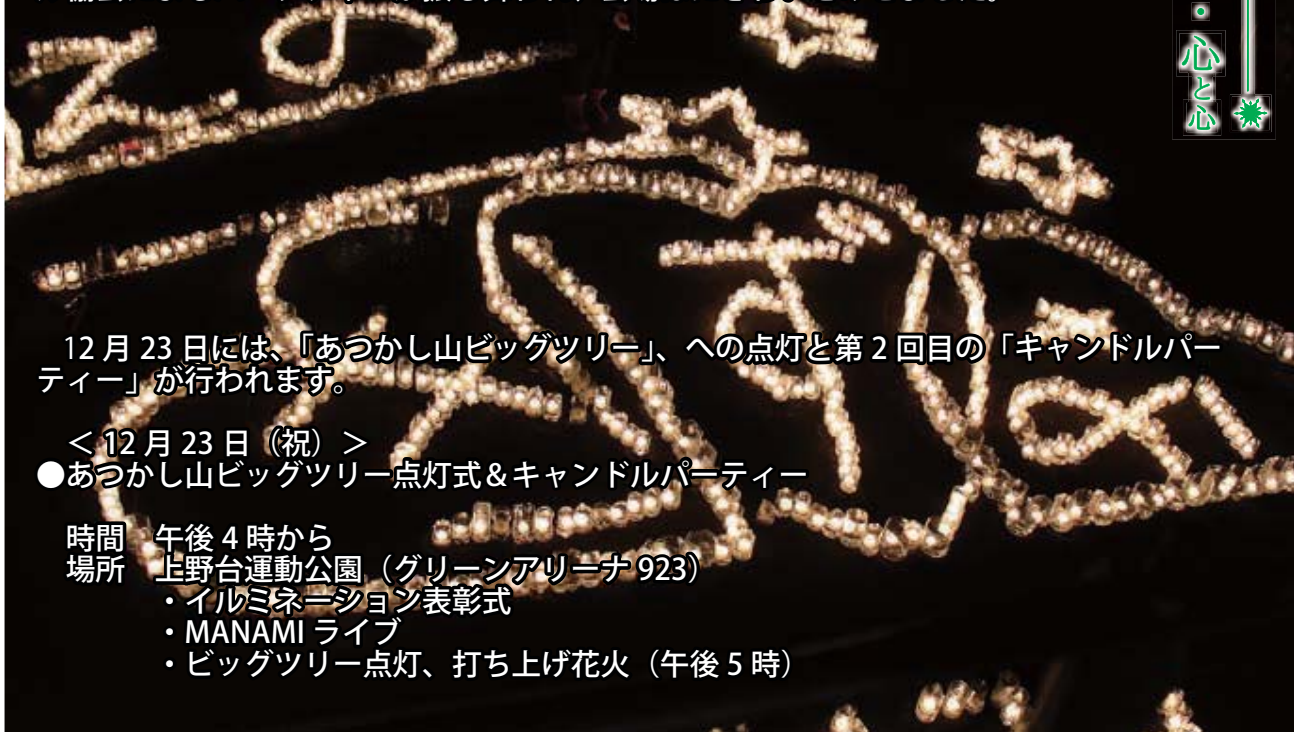


11月23日観月台文化センターをメイン会場に6会場でキャンドルパーティーが開催され、イルミネーションに点灯されました。
観月台文化センターのステージ上に、県北中学校美術部の生徒さんが書いた下絵にペットボトルを再利用したキャンドルが並べられ、イルミネーションと共に会場は暖かい光に包まれました。

また、東京を中心に活動している福島出身のMANAMIさんによるライブや商工会青年部による「国見味噌おでん」、果菜米、くにみの「すいとん」、ホーリーバジル協会によるハーブティーが振る舞われ、会場はにぎわいをみせました。



12月23日には、「あつかし山ビッグツリー」への点灯と第2回目の「キャンドルパーティー」が行われます。

<12月23日(祝)>

●あつかし山ビッグツリー点灯式&キャンドルパーティー

時間 午後4時から
場所 上野台運動公園(グリーンアリーナ923)
・イルミネーション表彰式
・MANAMIライブ
・ビッグツリー点灯、打ち上げ花火(午後5時)

旧小坂小学校お片付けプロジェクト

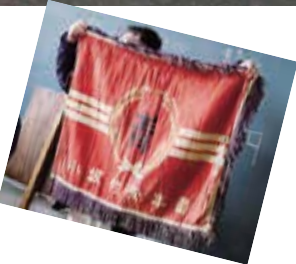
みんなの学校が、来年生まればわかります

11月15日、小坂地区の皆さん約80人が参加して、「旧小坂小学校お片付けプロジェクト」が実施されました。

来年、旧小坂小学校は、地域の憩いの場・介護予防のための軽運動機能を持った施設に生まれ変わります。今回のプロジェクトは、改修前に自分たちの学校を自分たちの手で片付けること、自分や家族

が過ごした小学校をもう一度見つめて欲しいとの思いで実施されました。

参加者は各教室を片付けながら、自分や家族が映っている写真などを見つけ、思い出を話しながら、片付けを行いました。最後には、何も無くなった教室を眺め、来年生まれ変わる校舎を後にしました。



なつかしい、小坂村青年団の団旗

森のおもちゃ フェスティバル in 国見 まちが 大きなおもちゃ箱

11月22日と23日の2日間、観月台の体育館で「森のおもちゃフェスティバル in 国見」が開催されました。両日とも天候にも恵まれ、県内外から多くの家族

連れが訪れました。特に宮城県からの家族連れが多く、会場は終日子どもたちの笑顔、笑い声が響きました。また、子どもと一緒に大人も木のおもちゃを手に取り、子どもの頃にタイムスリップ。どのように遊ぶのかを考えたり、木のぬくもりを楽しみました。さすがにボールプールの中で泳ぐ大人はいませんでした。たが、もし、誰もいなかったら・・・。思いっきり泳いでいたことでしょう。そんな、子どもも大人もわくわくする2日間でした。



ママたちの文化祭

11月23日、観月台文化センターにおいて、国見町で初めての「ママまつり in 国見」が開催されました。初めて「ママまつり」と聞かれる方も多いでしょう。ママまつりは、6年前に東京で始まったママたちが中心の文化祭のようなイベントです。国見町でも、実行委員のママさんいろいろなとご協力を頂き開催することができました。

ステージでは、県北中学校吹奏楽部、国見町古典鑑賞会の琴の演奏やママと子どもによる着物ファッションショー、フラワーアレンジメントの紹介がステージを盛り上げました。



どこに、木のボール乗せる？



高橋友一さんによるフラワーアレンジメント。この枝が、右のクリスマスツリーに大変身

会場内では、子どもと一緒に施術を受けることができるハンドマッサージや、おひるねアート、小物入れに飾りを付けるコーナーなど人気がありました。

◆国見町は子育て世代のママを応援します

森のおもちゃフェスティバルには2日間で3300人が来場し、ママまつりには2200人が来場しました。両方のイベントを訪れた方もいますが、子育て世代をターゲットにこれだけの方が国見町を訪れたことや宮城県や山形県からも来

着物ファッションショー



クラブスチアリーダーズ

ていただいていることから、国見町の持つ地理的優位性を確認できたイベントとなりました。今後は、子育て世代をターゲットに国見の良さを口コミで伝えていただけるような、イベントに育てていきたいと考えています。

